

企業会計・特別会計

ガス事業

事業収益	11億0,058万円
事業費用	10億7,614万円
資本的収入	450万円
資本的支出	2億1,990万円

他のエネルギーとの競合や原油価格の動向、為替相場の変動など都市ガス事業を取り巻く環境は、極めて厳しいものがあります。これらに対応しながら、都市ガスの安定供給と安全性の確保に努めます。

さらに維持管理面を強化し、計画的な老朽管の更新と各家庭のガス機器の保守点検、供給施設の安全管理のため、今年度からマイコンメーターを積極的に導入します。

水道事業

事業収益	8億5,244万円
事業費用	7億6,994万円
資本的収入	12億4,000万円
資本的支出	15億1,378万円

近年、人口の増加や産業活動の進展に伴い、水需要が急激に増加しています。近い将来、現有施設の給水能力が限界に達することが予測されるため、施設の第5次拡張事業を今年度から4カ年計画で進めます。今年度は9億1,665万円を投入し、戸頭浄水場施設の増設に着手します。

水は日常生活に欠かせないものです。安全な水道水の安定供給に努め、水質管理体制の強化を図ります。また、円滑な給水を行うため老朽管の更新と管路網の整備を促進します。

国民健康保険

予算総額 21億2,275万円

国、県の基本方針を踏まえ、医療費の削減と保険税収納率の向上、保健施設活動を主体に被保険者の健康保持と健全財政を推進。

歳出面では1人当たりの医療費見込み額を前年度比8%増で積算しました。前年度から実施している人間ドック補助事業については、今年度から1泊2日コースを設け、被保険者の健康管理に役立てます。

また将来の財政状況を十分見通す中で、2年度、3年度に引き続き減税を検討します。

老人保健

予算総額 25億0,586万円

継続して健康づくり運動を推進し、老人保健制度の長期安定を図るため、医療費適正化対策事業を積極的に進めます。



を設立します。同センターは働く意欲のある高齢者の自主組織。昨年実施したアンケート調査結果や企業の意向を踏まえ、年度内の事業開始を予定しています。中小企業人材育成助成制度は、会社などが派遣する研修の経費の一部を助成するもの。受講者の技術、技能の向上による人材育成を図りながら、市内の中小企業の振興と発展を目指します。

「第三次総合計画」は、あと三年余りで目標年次を迎えます。総合的、計画的な行政を進めるため、今年度はその実績を精査。その結果を踏まえて新たな計画の作成に着手します。新総合計画を効率的に推進するため、組織機構の見直しも進めます。また、開かれた市政を推進。今後の施策に市民の声を反映させるため、市政懇談会や課題別懇談会などを開催します。

整備計画など各種計画との整合性を保ちながら、都市整備の基本計画を作成します。

- 農振地域整備計画を見直し 前年度に引き続き、農業振興地域整備計画の見直し作業を行います。同計画はおおむね十年後を見通して作成されるもの。優良農地の確保を目指し、土地利用の在り方や施設整備、生活環境整備などを盛り込みます。
- 保健医療福祉計画を作成 豊かな福祉社会実現のため、前年度に引き続き「保健医療福祉計画」の作成を進めます。特に強い要望がある特別養護老人ホームの建設など、市民の要望に沿った福祉の在り方を計画。社会福祉全般にわたる施策を構想します。

主要施策

臼井小学校建設 臼井保育園建設 大風と歴史の館建設 スーパーモデル事業実施 各種計画の作成

主な事業と予算額 (単位:万円)

○臼井・戸石統合小学校建設事業	98,911
○しろね大風と歴史の館建設事業	65,136
○同推進事業	2,300
○臼井地域統合保育園建設事業	27,019
○農村総合整備モデル事業	10,150
○白根市都市計画基本計画の作成	600
○農業振興地域整備計画の作成	232
○白根市保健医療福祉計画の作成	111

統合臼井小学校 建設に着手

七年四月の開校に向け、臼井・戸石両小学校を統合した臼井小学校の建設に着手します。六年度までの二カ年継続事業で、校舍建設事業費は約十億八千万円。今年度は、用地取得費を含む九億八千九百万円を計上しました。同小学校は児童数約三百人、十二学級規模を予定。臼井小学校の建設により、旧行政区一校の小学校整備が実現します。

また、老朽化が進む庄瀬小学校の改築用地の取得について、土地開発公社を活用しながら計画的に進めていきます。

臼井地域に 統合保育園を建設

六年四月の開園を目指し、二億七千万円の事業費で臼井地域統合保育園を建設します。

臼井保育園は第三次総合計画で改築を予定。また臼井バイパス工事に伴って敷地、建物を買収対象となったことから、年度内の移転を迫られています。この地域には二つの未公認保育所（西笠巻保育所、朝捲保育所）があり、園児数の減少、施設の老朽化などから、統合保育園の早期建設が望まれていました。統合保育園は定員百人を予定。

大風と歴史の館 開館に向け準備

昨年十二月に着工した「しろね大風と歴史の館」は、六年度前半の完成を目指して工事が進められています。今年度は建設事業と並行して風資料の収集、民俗資料の整理を行います。建設事業費として六億五千万円、推進事業費として二千三百万円を計上しました。

同館は本市の観光の核になるとともに、地域文化、産業振興の拠点ともなるもの。施設の持つ機能を十分に発揮できるように、開館に向けての施設管理、運営方法などについて検討します。

スーパーモデル事業 いよいよ実施へ

総事業費二十四億円の、通称スーパーモデル事業（農村総合整備モデル事業・地域振興特別推進型）が、いよいよ事業実施に入ります。この事業は快適な農村環境の整備を目指すもの。サイクリングロードや農村公園の建設、道路、排水路の整備などを行います。

今年度は排水路や道路の測量設計、地質調査などを実施。一部排水路の整備に着手します。

シルバー人材センター 企業人材育成に助成

高齢退職者などの就業機会を確保するシルバー人材センター

